

新会長に戸田秀雄氏

日本万引防止システム協会

日本万引防止システム協会（J.E.A.S.、山本秀彦会長）は3日、東京都千代田区の主婦会館プラザエフで平成26年度通常総会が開催され、全議案が議案書通りに承認された。本総会をもって山村会長は退任、新会長に戸田秀雄氏、新副会長に松本剛氏が選任された。総会には、委任状を含め正会員25社が出席した。



戸田新会長



山村前会長

22年をピークに減少傾向にある。また、万引は少年の一過性の犯罪と久しく言われてきたが、平成24年、25年と65歳以上の高齢者が少年を上回り、新たな社会問題として取り上げられている。さらに組織的万引犯罪は、海外で不法販売ルートを構築している業者が、国内の闇業者にネットを通じて買い付けの依頼している。国内闇業者は前科の無い人間を使い、化粧品など大量に万引させており、小売業の経営に大きなインパクトを与えている。これは、地域の高齢者を含む安全安心の街づくりや、青少年の健全育成など社会的側面から万引を起ささない取り組みが必要だ」とあいさつした。

山村会長を議長に選出し第1号議案の平成25年度事業報告、収支決算報告の件、第2号議案の会費継続の件が承認された。

第4号議案の26年度事業計画、収支予算の件が承認された後、山村前会長が登壇し「万引防止機器は40余年が、平成14年6月に小売サービス業の店頭における万引犯罪の発生が急増。悪質化・組織化を背景に防止・抑制するための有力な万引防止システムが急速に席巻した時期に組成をした。その後、業界の拡大成長と万引防止撲滅に取り組んできた」と退任のあいさつを述べた。

教育学准教授の大久保智生氏を招いて「実態調査の万引対策に生かす」をテーマに講演。続いて㈱エイジス常務取締役の近江元氏を招いて「正確な棚卸から始まるロス対策」を講演した。

第3部の意見交換会では、戸田新会長が「第一部で山村前会長が話された通り今日から当協会発足、13年目を迎えた。関係省庁や関係諸団体の厚いご支援を賜わり活動している。万引犯罪は劇的に減少しているわけではないが、当協会としては新しいシステムやサービスを社会に提供し、安全で快適な、よい環境の店舗や商店街づくりなどに貢献していきたい」とあいさつした。

来賓を代表して経済産業省商務情報制作局情報通信機器課の荒井勝喜課長、警視庁生活安全部生活安全総務課の櫻井美香課長、日本小売業協会の土方清会長があいさつ。

乾杯の発声はNPO法人全国万引犯罪防止機構の竹花豊副理事が行った。

最後に協会発足時から12年間会長職を務めた山村前会長を労い、全国万引犯罪防止機構の河上和雄理事長ほか各関係者から感謝の言葉を記した顕章盾と花束、記念品としてドイツ製の折り畳み傘が贈呈された。